

質問

# 任用職員給与の遡及支給を



川西 明德 議員

町長

12月末に遡及支給した

**質問** 総務省は会計年度任用職員の給与

改定で、昨年4月に遡及して支給するよう求めている。遡及適用させる課題は。

町長 課題は、遡及することで新たな財源の確保が必要となる。

遡及は、国・県の勧告に準じて、正規職員と同様に12月末

に遡及支給をした。

**質問** 特別交付金推

奨事業メニュー分は、提出期限を過ぎても、残れば来年度に繰り越す手続ができるが、限度額残はないか。

町長 限度額残の発生はあり、学校給食事業の支援として、学校給食臨時交付金を予算化した。

## 学校体育館の空調設置について

**質問** 学校体育館の空調設置の計画は。

町長 考える必要がある。



体育館空調設備（イメージ）

## 学校給食費の無償化について

**質問** 学校給食費の無償化は全国に広が

っている。実施の考えは。

町長 国や県に学校給食無償化に対する要望活動を強く行う。

**質問** 近代的で清潔な学校給食センターが必要ではないか。

町長 調理場は一箇所に集約することを前提に検討をしている。

すべきだ。

町長 独自に負担していた一般財源を、新たな子育て支援に取り組めるよう準備を進めている。

**質問** 農水省は、食料システム戦略推進交付金事業で、有機農業産地づくりを推進している。

有機農業の学校給食等の利用などの試行に支援するとして

いる。

まずは、農業公社が試行の取組を始めるのはどうか。

町長 取り組むべきと認識をしている。

町長 町農業公社の有機農業の試行はできそうなので、有機農産物の学校給食への使用や、生産農家の所得向上にも寄与する形で取り組んでいければと思う。



給食センターでの調理（イメージ）

**質問** 国は国保の国庫負担が減額される調整措置（ペナルティー）を18歳未満までを対象に廃止する。ペナルティー廃止を、年齢拡大や償還払いの現物給付化など、子供医療費無料化のさらなる拡充に生か